



2026年2月26日

各 位

会 社 名 みずほリース株式会社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 中 村 昭
役 職 氏 名
(コード番号：8425 東証プライム)
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 藤 原 隆 司
経 営 企 画 部 長
電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 3 - 6 5 1 1 (代 表)

Star Asia Group LLCとの資本業務提携及び第三者割当増資引受けによる 同社持分取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社及び当社の完全子会社であるエムエル・エステート株式会社（以下「エムエル・エステート」といいます。また、当社及びその子会社を総称して、以下「当社グループ」といいます。）とStar Asia Group LLC（以下「スターアジア」といいます。また、スターアジア並びにその子会社及び関連会社並びにその投資先の事業会社を総称して以下「スターアジアグループ」といいます。）との間で、スターアジアの持分の取得に係る「Purchase Agreement」（付随する契約を含み、以下「本引受契約」といいます。）及び業務提携内容を含めた持分者間契約書である「AMENDED AND RESTATED LIMITED LIABILITY COMPANY AGREEMENT」（以下「本資本業務提携契約」といい、本引受契約とあわせて「本資本業務提携契約等」といいます。また、本資本業務提携契約等に基づく資本業務提携を以下「本資本業務提携」といいます。）を締結する旨を決議しましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、エムエル・エステートが本第三者割当増資（以下に定義されます。）の実行時点において間接的にその出資持分の全てを保有するHo-oh SPV LLCが、スターアジアが第三者割当増資（以下「本第三者割当増資」といいます。）の方法により発行する同社の持分を引き受ける旨を決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、本第三者割当増資の引受け完了によって、スターアジアは当社の持分法適用関連会社となる予定です。

記

1. 本資本業務提携の理由

当社は、リース会社から大きな飛躍を遂げ、脱炭素などの社会的課題を解決し、お客さまと共に未来を共創するプラットフォームカンパニーを目指しております。現在推進中の『中期経営計画2025』の対象期間である2023年度～2025年度は、目指す姿の実現に向け飛躍的な成長を遂げるため、事業・経営基盤双方を抜本的に強化する期間と位置づけております。特に、不動産事業領域においては、安定収益基盤である不動産ファイナンスや不動産リースを拡大するとともに、中長期的な運用を視野に入れた不動産投資及び共同開発を行い、アライアンス先との協業を通じ

て新たなビジネスを創出することを推進しております。

スターアジアは、2006年に創業された非上場の不動産投資運用グループで、自らが運用する複数の私募ファンドおよび上場リート(スターアジア不動産投資法人、東証コード 3468)を通じて、主に日本の不動産関連の債権、証券化商品、信託受益権、現物不動産、事業会社等に幅広く投資しております。また、グループ傘下にはポラリス・ホールディングス株式会社(東証コード3010)や高級旅館運営会社、国際学生寮運営会社等を有し、オペレーティングアセットの開発、投資、運用、アセットマネジメント、オペレーションの垂直統合も行って参りました。スターアジアグループは卓越した投資実績を積み重ね、米国の大手大学基金や財団、資産運用会社、その他各国の年金基金や政府系ファンド等の世界的投資家と長期的なパートナーシップを構築しており、個々の資産運用案件において各投資家の期待を超えることが出来る不動産投資運用グループであり続けることを最大の目的としております。

当社グループ及びスターアジアグループはこれまで、スターアジアグループが運用するファンドに対するファイナンス提供やブリッジ機能の提供などを通じて、信頼関係を築いてまいりました。今般、これらの取り組みを更に強化することに加え、戦略的パートナーとして安定的な資本関係を構築することが、両社の事業拡大及び企業価値向上につながるものとの考えが一致し、本資本業務提携契約を締結することで合意致しました。

また、当社は本資本業務提携の円滑な実施を図るため、本第三者割当増資の引受け完了後、取締役1名をスターアジアに派遣することを予定しております。

2. 本資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の目的及び内容

当社は、本資本業務提携契約が、不動産事業領域において掲げる「既存領域の拡大と新たなビジネス創出を両輪で推進」という目指す姿に向けての3つの取組方針、すなわち①既存ビジネスの強化、②投資開発案件への取組み、及び③アセット循環型ビジネスへの取組みに合致する戦略的意義のあるものと考えております。

本資本業務提携は、不動産投資運用分野で高い専門性を有するスターアジアグループの成長支援を目的として、本第三者割当増資の引受けにより安定的な資本関係を構築するとともに、当社グループの有する顧客基盤、人的資源、不動産事業領域に限られない知見等の経営資源を動員することで、両グループの相互の強みを活用し、両社の更なる企業価値向上を実現することを目的としております。

当社は、本資本業務提携における具体的な取り組みとして、以下の戦略シナジーの早期発現を目指して参ります。

(i) ファイナンス提供

- － 当社グループが行うブリッジファイナンス及びメザニンファイナンスのスターアジアグループへの提供による事業運営の支援

(ii) 投資事業

- － 不動産関連取引(投資・売却活動)における協業

(iii) オペレーション事業

- － スターアジアグループのオペレーション事業を活用した共同開発、投資機会への共同投資

- 当社グループによるスターアジアグループのオペレーション事業へのソリューションの提供
- (iv) ファンド・リート事業
 - スターアジアグループによる新規ファンド組成における当社グループのリソースの活用を検討
 - スターアジアグループのリート事業拡大のための協働の検討
- (v) 両グループ間の人財交流を通じた知見、ノウハウの共有、向上及び継続的な戦略シナジー発現の加速

(2) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当増資により、Ho-oh SPV LLCがスターアジアの種類持分Class B Unitsを引受けることを通じて、スターアジアの持分比率25.00%（議決権比率24.90%）を取得する予定です。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	Star Asia Group LLC	
(2) 所在地	125 Gaither Drive, Suite L Mount Laurel, NJ 08054	
(3) 代表者の役職・氏名	Managing Partner Malcolm F. MacLean IV Managing Partner 増山 太郎	
(4) 事業内容	投資運用業	
(5) 資本金	4百万円（2026年2月26日現在）	
(6) 設立年月日	2016年6月3日	
(7) 大株主及び持株比率 (2025年12月31日現在)	Suzaku Holdings LLC	50.00%
	Tsuru Holdings LLC	50.00%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 最近3年間の財務状態及び経営成績は、スターアジアグループの意向により非開示とすることを求められており、記載しておりません。

4. 取得持分割合、出資金額及び取得前後の持分割合の状況

(1) 異動前の持分割合	持分比率：0.00% 議決権所有割合：0.00%
(2) 異動持分割合	持分比率：25.00% 議決権所有割合：24.90%
(3) 出資金額	300億円
(4) 異動後の持分割合	持分比率：25.00%

	議決権所有割合：24.90%
--	----------------

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年2月26日
(2) 本引受契約締結日	2026年2月26日
(3) 本資本業務提携契約締結日	2026年3月25日(予定)
(4) 本第三者割当増資の払込期日	2026年3月25日(予定)

6. 今後の見通し

本資本業務提携及び持分法適用関連会社化による当社の2026年3月期の連結業績への影響は軽微であると考えております。

以上